

一般質問

第七回（十一月）定例会では十六人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
渡邊 博夫	文化芸術の活用、市芸術祭、市民文化センター、特殊詐欺等	4
小澤 隆	事業構築と事業検証	4
井原三千雄	中心市街地、にぎわいコンベンション、回遊性	5
長田 吉信	子宮頸がん予防の取組、学校教育のICT活用	5
小泉 宣子	浸水被害対策、スマート農業導入支援、女性の就労支援	5
尾藤 正弘	体育館空調設備の設置、香貫山の整備、物価高対策	5
村木 豊	水害時の土のう利用促進、沼津市防災アプリの活用	6
大川敬太郎	山間部の通信環境整備、建設発生土の処分場確保	6
大草 満	災害時における迅速避難、障害者雇用促進法改正	6
深田 昇	商業施設等への投票所設置	6
渡部一二実	目標耐震化率必達取組強化、フェーズフリーな防災促進	7
川口 慶	学校給食、書店業支援、シビックプライドの醸成	7
高橋 秀子	電子証明書の更新手続、生活弱者に対する支援	7
山下富美子	夜間救急医療センター、2.56 億円使途不明金、刑事告訴	7
江本 浩二	市内の一部地域で発生した投票所入場券未達問題	8
平野 謙	市営住宅の活用	8

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~~）については、P.8の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



本市主要事業の事業構築・検証の方法は

問 本市の主要事業について、①事業構築の方法は。②事業実施後の検証方法は。③事業構築・検証に関する職員研修の実施状況は。

答 政策推進部長／①本市の約七百の事務事業のうち、七十事業を第五回沼津市総合計画に基づくまちづくりを推進していく上での主要事業として位置づけている。この主要事業の構築に当たっては、本市の現状分析や課題整理、市民ニーズを踏まえた中で、総合計画の基本理念や目指すべき本市の将来都市像などの実現に向けた施策を検討し、事業構築を

行っている。②主要事業の検証については、プロセスマネジメントにより、事業の目的、事業費、評価指標その他達成に向けた手順を明らかにし、政策企画課で全ての事業の進捗管理及び年度ごとの目標の達成状況等を確認するとともに、特に重要な事業は、市長の下、確認・協議を行っている。③本市では、現状分析、政策形成と問題解決、事業スクラップなどを習得する職員研修を実施しており、これらの研修は、事業構築・検証に関するスキルの向上に有効であると考えている。

小澤 隆



文化芸術を活用したまちづくりの取組は

問 文化芸術を活用したまちづくりについて、①歴史ある沼津市芸術祭を継続していくための取組は。②市民文化センターを拠点として活用する考えは。

答 教育次長／①沼津市芸術祭を継続させていくためには、担い手の育成と組織の在り方が重要であると認識している。今後は、持続可能な組織体制の構築に向けて、これまで沼津市芸術祭を支えてきた皆様と連携し、若手指導者の育成や新しい分野で活動する人たちが活躍する場を提供していきたい。②令和六年度は、

芸術祭の実施団体等との意見交換や静岡県官民連携実践塾を活用し民間企業への聞き取りなどを実施したほか、高尾山古墳などの発掘調査による出土品の展示や勾玉造り、弓矢体験ができるイベントを実施するなど、文化芸術の拠点としての利活用に取り組んでいる。今後は、これまで以上に市民と連携し、多様な文化芸術活動に親しみ、鑑賞したり、体験したりする機会を創出し、文化の殿堂である市民文化センターを拠点とした文化芸術のまちづくりを市内全域で推進していく。

渡邊 博夫

